

雲母（きらら）にゆうす

Vol. 28(07) May

発行 南光だ i 雲母倶楽部

住所 仙台市泉区南光台3-20-3

TEL 022-234-1711

<はじめに>

新芽と若葉のすがすがしい季節が過ぎ、そろそろ梅雨に入ろうとしています。じめじめとした季節を迎えるにあたり皆様いかがお過ごしでしょうか？

今回は「さくら週間」としていろいろな場所にお花見に出かけた事や民謡の先生が雲母倶楽部に来訪された事について報告いたします。

(ケアメンテナンス班 成田)



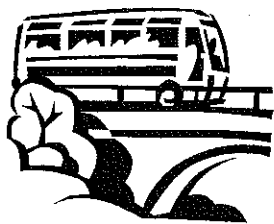
「さくら週間」



お花見

日本の春一番の恒例行事である「お花見」があります。その為に4月12日に利用者の方々と職員で車2台に乗って仙南のお花見の名所の一つである船岡城址公園に行きました。リフトで平和観音がある所まで上りました。足の不自由な方は車椅子を使用し上りました。山の上で食べたお弁当は大変おいしくいただきました。今年の桜は、つぼみの一部を“うそ”という野鳥が食べてしまい例年に比べて花が少ないように感じました。行き帰り道では車から線路越しに一目千本桜も見ることができたので皆さんに喜んでいただけました。また雲母倶楽部では「さくら週間」として色々な場所でお花見をしてきました。榴ヶ岡公園や桜並木のきれいなスポットでもある将監団地や寺岡団地の方まで出かけ、穴場を探る小さな旅になりました。

(クッキング班 加茂)



《陸奥国分寺

薬師堂》

慶弔八年(1603)岩出山から青葉城へ居を移した伊達正宗公は国分寺復興を計画し慶弔十二年(1607)に旧陸奥国分寺講堂跡にこの薬師堂を再建したとの事である。

お団子
美味しいわね☆☆

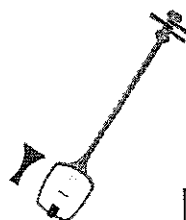


《榴ヶ岡公園にて》



《船岡城址公園にて》

～きららに三味線・尺八の音色が響き渡る～



5月行事として民謡教室がありました。生で間近で見る尺八と三味線演奏の迫力に皆さん真剣に聴き入っていました。利用者さんの中の一人は「冥土の土産になった！」と大変喜んでいました。

(ケアメンテ班 樋口)



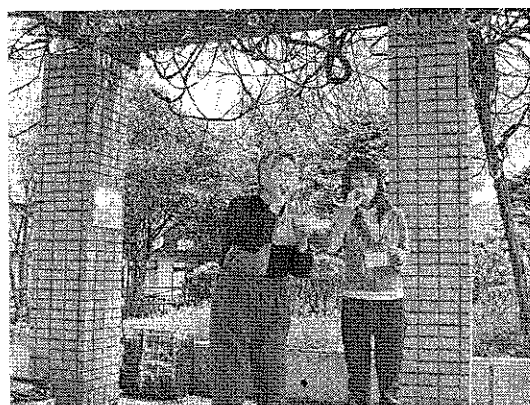
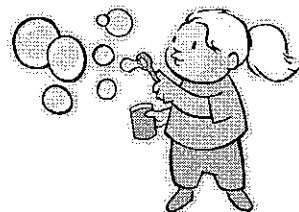
シャボン玉が飛びわたる

シャボン玉飛ばそ♪

最近、お天気の良い日が続いたので女性の利用者さんとシャボン玉を行ないました。きれいな光に反射して色々な色に見えるシャボン玉や大小様々なシャボン玉を見て大変和やかな時間を過ごしました。小さいシャボン玉から大きいシャボン玉に魅せられて大喜びの利用者さんでした。利用者さんの中には気に入ってなかなかシャボン玉を手放さなかった方もいました。

さらに利用者さんと楽しく『シャボン玉』の歌を歌いながら楽しく行いました。私達もスタッフも何年かぶりに行ったので利用者さんと共に心が癒され楽しい時間を過ごす事ができました。ました。7～8月と暖かい日が続くと思いますので、シャボン玉のような外で行なえる活動を増やしていきたいと考えています。

(ケアメンテナンス班 古川)



<編集後記>

今月号はいかがでしたか？暖かくなり外出にもほど良い気候となりお花見も少し遠出をしてきました。桜満開に利用者さんも満喫されていました。又、初めての津軽三味線の生演奏や尺八の伴奏による民謡歌会には利用者さんも含めて楽しく過ごす事が出来ました。今後も新しい企画を考え、利用者さんの素敵な表情などもお伝えしていきたいと思ひます。

(ケアメンテナンス班 長尾)

